

令和4年度 第1回羽島市立竹鼻中学校運営協議会 議事録

1	日時	令和4年6月22日(水) 午後1時30分～3時30分
2	場所	羽島市立竹鼻中学校 会議室 (北舎1階)
3	出席者	<p>17名</p> <p>松下 友幸 (会長 地域コーディネーター竹鼻町 不二羽島文化センター顧問)</p> <p>小林 美雪 (副会長 地域コーディネーター福寿町 元西部幼稚園園長)</p> <p>小森 博昭 (竹鼻町自治会長)</p> <p>安田 寛治 (福寿町自治会長)</p> <p>田中安志郎 (福寿コミュニティセンター館長)</p> <p>後藤 栄治 (福寿コミュニティセンター協議会長)</p> <p>小笠原秀芳 (福寿町民生児童委員会会長)</p> <p>馬場まさ子 (竹鼻町主任児童委員)</p> <p>岩佐 和子 (福寿町主任児童委員)</p> <p>大野 一明 (竹鼻町青少年育成推進員)</p> <p>松野 正治 (福寿町青少年育成推進員)</p> <p>後藤周太郎 (羽島高等学校長)</p> <p>水谷 宏明 (竹鼻中PTA会長)</p> <p>平松 伸子 (羽島市教育委員会教育支援センター)</p> <p>森山 健 (本校 校長)</p> <p>杉山 正高 (本校 教頭)</p> <p>黒木 美芳 (本校 教頭)</p>
4	議事	<p>1. 委嘱式</p> <p>2. 授業参観</p> <p>3. 会長挨拶</p> <p>4. 自己紹介</p> <p>5. 学校経営の方針及び教育活動の現状について</p> <p>6. 意見交流</p> <p>7. 閉会の挨拶 (副会長)</p> <p>【部活動のクラブ化について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・竹鼻中学校のクラブ化は、保護者の負担軽減、教員の働き方改革ありきではなく、生徒の希望に応えるために始まったもの。 ・教員とコーチが連携してうまくやれるとよい。保護者は、学校との連携がうまくできていると、任せようと思えるのではないかな。 ・学校の部活動への取組を見直し、日課を大幅に改善して指導にあたっている。 ・指導者や運営資金の確保は今後の課題。 <p>【SDG sについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、どの企業でもSDG sを意識している。子どもたちも意識することが大切。そこから社会に役立っているという意識をもたせたい。 ・中学校でも、是非その取組を進めていただきたい。 ・竹鼻中学校のSDG sは、各教科や委員会など日常生活において、どうつながっているのかを意識付けている。 <p>【with コロナ→after コロナについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で生活する今の子どもたちが、困難をのりこえる知恵として、コロナの経験を次の世代に語れるようになってほしい。 ・全てを3年前に戻すのはどうだろうか。今、安心して生活できている子もいるのではないだろうか。元に戻すことで息苦しさを感じる子もいるのではないかな。 今だからこそ、竹鼻中学校の子どもたちに何が大切かを考えていきたい。 ・マスク着用・非着用については、その指導や実施には難しい現状である。

		<p>【地域について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域での中学生の挨拶が気持ちいい。以前より挨拶する姿が増えた。 ・中学生が地域行事で活躍する姿 →地域の役に立っているという意識へ (防災フェスティバル・健康ウォーク・ふれあい広場・夏まつり・夜回り) ・伝統文化の継承者不足、子供会の衰退などが懸念される。 ・継続しなくては止まってしまう。抱えている課題は地域によって様々。学校と地域が一緒にやっていけることがあるのではないか。
5	決定事項	R4年度 会長 松下 友幸 様 副会長 小林 美幸 様
6	連絡等	・次回 第2回竹鼻中学校学校運営協議会 11月28日(月)
7	教育委員会指導	<ul style="list-style-type: none"> ・教員からの褒める言葉をもっと増やし、生徒の自己肯定感につなげたい。 ・生徒はタブレットに向かい、話し合い・気付き合いが少ないのではないか。しかし、タブレットがあることで、その場の活動に参加できる生徒もいる。 ・青パトからの声かけに応じてくれるなど、素直な生徒が多いと感じる。